

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年9月27日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊勢農林水産事務所	代表者名	太田憲明
担当者部署	水産室	連絡先電話番号	0596-27-5189
担当者役職		担当者氏名	
住所	516-8566 三重県伊勢市勢田町628-2		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	和田 雅昭
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本県では水産業においてAI・ICTを活用した取組事例が少なく事業推進のノウハウが不足していたが、和田教授に丁寧な助言・アドバイスをいただけたことで、ICTへの理解が深まるとともに、今後の事業推進の参考となったため。
アドバイザーへの要望事項	今後、事業を進めていく中で解決すべき課題等があらわれた場合には、必要に応じて引き続きアドバイスをいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年9月20日	10時00分	17時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	三重県庁		最寄駅	津駅
	所在地	三重県津市広明町13番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 県職員、大学職員、漁業者等	人数 60人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) 三重県では平成31年度から水産業においてAI・ICTを活用した技術開発に取り組んでおり、三重県水産研究所では以下の事業を実施することとしているが、県内ではこれまでにAI・ICTに関する取組事例が少なく、ノウハウが不足している。 ①「魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業」、②「真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業」、③「ICTを活用した新たな資源管理システム構築事業」	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	水産業におけるAI・ICTの利活用に精通した専門家の助言を受けることで、効率的、効果的に事業を推進する。また、海外や国内他地域の先進事例を紹介いただくとともに、本県水産業へのAI・ICT活用の可能性についても助言をいただくことで、今後の事業計画立案の参考とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	県内水産業でのICTの活用について検討している若手ワーキンググループとの意見交換会では、三重県の水産業が抱える課題に対して、どのような技術が活用できるか等について助言いただいた。また、三重県と三重大学が共同で定期開催している「産官学連携セミナー」の場で講演いただき、スルメイカ釣漁、ナマコ桁網漁、定置網漁でのICTの活用事例を交えながら、情報の見える化やデータ管理の重要性について教授いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本県水産業が抱える課題に対して具体的なアドバイスや、全国での取組状況、行政に求められる役割等を紹介いただいたことで、水産業へのAI・ICT活用への理解が深まり、今後、当県が行政主導で事業を推進したり、事業計画を立案する上での参考になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 未実施。参加者が少数であり、結果について直接参加者に聞き取ることができたため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	AI・ICTを活用して資源管理や養殖生産管理に取り組むことで、水産資源の安定的な生産や水産業のスマート化を実現し、新規就業者の確保・育成につなげる。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

